

ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」
 「土と人情」に囲まれた。ナナミ
 ちゃんの「私、土の子」奮闘記

09.27庭の
 片隅で今年も
 咲く。ユウゼ
 ンギク北米原
 産 多年草



1 来年の野菜作り



↑09.23今年は長雨でトウモロコシも病気で早く枯れ、抜くことに。↑カ力は隣でモロヘイヤの収穫



↑ネットを巻き取るカ力

トウモロコシにモロヘイヤなどを片付け、来年収穫のニンニクにワケギの球根植付畝と玉ネギ苗を植える2畝を作った。これからは鳥オクラも抜き、コンニャク芋に春蒔き人参も掘り上げて耕し、ホウレン草や小松菜など葉物野菜の種蒔きをします。



↑09.23トウモロコシのネットを外し、根を抜きながらマルチを巻き取ってゆく。↑トウモロコシ後に石灰類を散布し、カ力は隣のニンニクとワケギを植える畝に施肥をして。↑カ力はニンニク畝でクワで肥料を鋤き込む(反対側から写す)、トトは管理機で耕し。←耕した後をトンボで平らに均す。→長雨も終わり、久しぶりに地藏岳や甲斐駒ヶ岳を望む。長雨に台風など安定しない日々が続いた9月。

2 「ナナミちゃんのお宿」は?



平積みだった「チルチンびと」や猫の本などを、本棚を備えて整理したり、ミニギャラリーの展示を少しだけ変えたりしながら、ワクチン接種が行き渡り新型コロナが落ち着くことを期待し、過ごしています。

↑飾り棚の水滴。



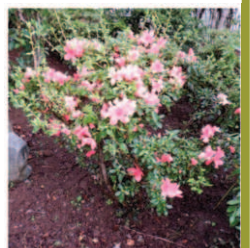
↑来客も無く駐車スペースにポツンと咲く百日草・・・

目次

- 1 来年の野菜作り 1
- 2 「ナナミちゃんのお宿」は? 1
- 3 冬野菜の支度 2
- 4 チョコッと立ち寄り骨董店 2
- 5 九月のお味

ハイライト

白露・末候9月18～22日「玄鳥去げんちょうさる」ツバメが南へ帰る頃という意味。ツバメは繁殖地と越冬地との間を定期的に往復する鳥で、このような鳥を渡り鳥という。また夏は山地で繁殖し、冬には平地で越冬するような、渡り鳥より小規模な季節移動をする鳥は漂鳥と呼ばれ、ウグイスやムクドリ、ヒヨドリなどがこれにあたる。逆に一年中同じ地域にすむ鳥は留鳥と呼ばれている。渡り鳥の中にも分類があって、南方から日本にやって来るものは夏鳥、北方からやって来るものは冬鳥、春と秋の2回日本に立ち寄るものは旅鳥と呼ばれる。このほかに、暴風などの特殊な事情で不定期にやって来るものは迷い鳥と呼ばれる。旅～の～つばくろ～♪さびしいか～♪田端義夫さんの歌が聞こえる歳のトト。



089.27ヤマツツジお宿庭で狂い咲き、日本原産 低木の半常緑樹

3 冬野菜の支度

長雨で天候不順の中、晴れ間があれば畑に出て管理機で耕し、秋冬野菜の支度に追われる。わが家の畑はウナギの寝床のようで細長く狭い、夏野菜が終わったら畝を片付けて耕し、次の野菜支度と忙しく自転車操業のような畑ですが、カカの気力は充実して・・・



↑09.08二畝作り、冬の葉物野菜苗を植える、白菜畝から耕す



↑二畝マルチを張り、左はキャベツで右は白菜を。



↑80日結球白菜苗を植える



←09.14 ネットの中は玉ネギ4種類が発芽、右は育ち始めた青首大根。



↑09.10 70日結球白菜苗を植えてゆく。白菜は大事な冬野菜。09.14右隣の畝には、とんがりコーンが集まったような形の

↑09.14ナナミちゃんのお宿前の畑、スイカを片付け耕しレタス類の畝に、種から育てたポット苗のサニーレタスを植える→他にロメインレタス苗も植えた。レタス類はこれから活躍する大事な葉物野菜です。



カリフラワー「ロマネスコ」苗を植えた。茹でるとカリカリとした食感の野菜。

4 チョコッと立ち寄り骨董店



須玉へ出かけついでに立ち寄った「アンティーク冬花」懐かしいEXPO 70万博博覧会の各パビリオンの観覧記念メダルが目にとまる、¥8000円か〜ア 店内は数多くの洋食器が。



5 九月のお味



↑渋皮煮には虫食い傷の有無、形良い栗を選んで



↑カカー一人で鬼皮むきから全てをこなす



↑最後の渋皮煮にはブランデー少々

栗ご飯を炊いて冷凍し、家族や野菜会員へ送り、手土産や頂き物のお返しにしています。渋皮煮も同様で、カカトは煮崩れたモノや瓶詰めには個数が合わない半端物を、パクパク食べる幸せな季節です。



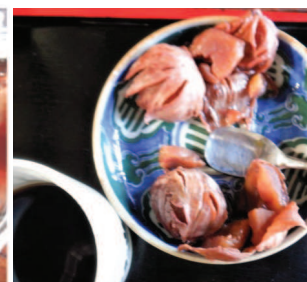
↑玄關土間に七輪置いてコトコト煮て



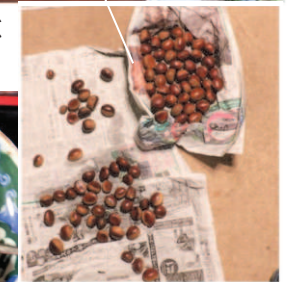
↑煮沸消毒をした瓶に熱い内に詰め



↑渋皮煮の瓶詰、栗は3個しか入っていません。



↑煮崩れた渋皮煮でコーヒーを



↑09.27畑で最後に実った栗を洗い、玄關土間に広げて乾かす、4回目の渋皮煮を作るのか?全部が栗ご飯??